

《担当者名》前佛 誠 (非) zenbuthu6186@potato.ne.jp

【概要】

視覚障害者の障害の特性、学習上・生活上の困難さ及び障害を克服し、自立・社会参加を目指すための幼児児童生徒を育成する指導内容・指導方法等についての基礎的知識を身につけさせるとともに、視覚障害教育の歴史、法令、制度等の視点から、視覚障害教育の現状と課題について考える。

【学修目標】

- 1 視覚の機能、眼疾等の理解を基に、視覚障害の特性を理解し、幼児・児童生徒の視覚障害の程度や状態を適切に把握する基礎的知識を身につける。
- 2 視覚障害者（盲・弱視）の視覚障害に基づく学習上、生活上の困難さと、それを克服・自立し、社会参加を目指す教育課程及び指導内容・指導方法を、主に自立活動を通して理解する。
- 3 早期教育相談・早期教育、三療（あん摩・マッサージ・指圧、鍼、灸）を主とする職業自立の現状から、視覚障害者の教育機関の役割と教員の適性を考える。
- 4 視覚障害教育の歴史及び法令、制度上等の広い視点から視覚障害教育の現状と課題を考える。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	インクルーシブ教育システム構築と特別支援教育（学校） 指導者の熱意と専門性を考える	前佛
2	視覚障害の理解	1 視覚の成り立ち（目の構造と視機能、視力と視機能検査） 2 視覚障害をもたらす目の疾病と疾病への配慮事項	前佛
3	視覚障害の特性	1 学習上・生活上の困難さ 2 部分的情報収集	前佛
4	視覚障害者の歴史と職業	1 視覚障害者の見方の変遷と当道座 2 進路指導及び三療を主とした職業の現状と課題	前佛
5	視覚障害教育の制度	1 視覚障害教育の法令及び制度と教育機関 2 早期発見・早期指導の重要性と教育相談と就学	前佛
6	教育課程の配慮事項	1 教育課程における「準ずる」と「障害の克服」の理解 2 視覚障害の配慮事項	前佛
7	教科指導と指導方法	1 視覚障害の特性に配慮した各教科の指導と実際	前佛
8	自立活動の指導 1	1 自立活動の目標と内容 2 空間概念の指導	前佛
9	自立活動の指導 2（歩行指導）	1 歩行指導と歩行地図 2 手引き歩行と白杖を用いた指導（含実技）	前佛
10	自立活動の指導 3（点字指導）	1 点字の歴史と成り立ち 2 点字の系統的指導と点字の触読指導	前佛
11	自立活動の指導 4（点字指導）	1 点訳の実際（含実技）	前佛
12	自立活動の指導 5（盲児の指導）	1 アクティブタッチと図形指導 2 予測・確かめの指導（含実技）	前佛
13	自立活動の指導 6（弱視児の指導）	1 弱視の特性と指導上の配慮 2 弱視レンズ及び各種機器の活用	前佛
14	重度重複障害を併せ持つ視覚障害者の教育	1 視覚障害を併せ持つ重度・重複者の理解と指導 2 各種アセスメントの方法	前佛
15	視覚障害教育の現状と課題	1 視覚障害教育センター校と専門性 2 視覚障害者の社会参加と職業自立（キャリア教育と進路）	前佛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

1 提出課題と発表	10%	2 小テスト	20%
3 レポート	60%	4 受講態度	10%

【教科書】

下記の書籍を事前に準備すること。また、プリント資料を随時配布する。

「新・視覚障害教育入門」 青柳まゆみ・鳥山由子 編著（ジアース教育新社 2020.9.10発行）1990円

【参考書】

適宜推薦する。

【学修の準備】

- 1 上記教科書を事前に準備すること。
- 2 「アイ・マスク」を数回使用する。衛生上から個人専用として用意すること。安価なものでよい。
- 3 次時の講義の内容を知らせ、課題を提示するので、次時に提出するとともに、発表もできるように学習の準備を進めること。
予習2時間・復習2時間

【免許法施行規則に定める科目区分等】

- 1 上記教科書を事前に準備すること。
- 2 「アイ・マスク」を数回使用する。衛生上から個人専用として用意すること。安価なものでよい。
- 3 講義の復習課題を提示するので、次時に提出すること。
- 4 次時の講義の内容を知らせ、ポイントを提示するので、発表もできるように学習の準備を進めること。

【実務経験】

盲学校教諭・教頭・校長

【実務経験を活かした教育内容】

盲学校教諭・教頭・校長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。